

地域をひとつの大きな家族に

ぐるんと
まちかど新聞



2022.12

Vol.50

ぐるんとまちかど新聞は、
「地域をひとつの大きな家族に」を
テーマに、ぐるんとびーでの日常や
地域のことを発信していきます。



考えてみよう

特集

防 災

のこと。



中野正英（通称：ブル）

ぐるんとびースタッフ、防災士、パークサイド駒寄自治会役員、湘南大庭防災協議会役員、湘南大庭自治会連合会役員、駒寄小学校避難所準備委員会役員。

ー今回、一斉防災訓練の安否確認訓練に加えて、物資配給訓練を行おうと提案されたのはなぜですか？

中野：パークサイド駒寄は、倒壊の危険は少なく、駒寄小に避難する可能性は低いと思われます。つまり、在宅での避難生活を送ることになると考えられます。

そういった場合、発災直後は自分達で支え合う必要はあるけど、一定期間が過ぎてもインフラやスーパーは機能停止になるので、藤沢市からの物資支援が行われることになります。例えば、3食のご飯とか、トイレトペーパーとか、全国からの支援物資とか。ありとあらゆるモノが物資支援に頼らざるを得なくなります。

しかし、実際に物資支援が行われるようになった場合、パークサイド駒寄では、『どこで』『どんな風に』物資配給をやるのか決められていないんです。

ならば、平時から物資配給の流れをやって入れば、どこで＝『この前の訓練の時にやった場所で』、どんな風に＝『この前の訓練の時の様に一方通行で』と、役員や住民での共通理解が生まれると思て、訓練の提案をしました。

一度、共通理解があると、いざというときにスムーズに配給が出来るということと、最悪、私や会長が動けなくとも、残っている役員や住民で行えると考えました。

また、一度やっておくことで『誰が来て』『誰が来ていないのか』がリストになってるので、いざ発災した時は、「隣が高齢の世帯だから、ついでに持って行ってくれない??」と頼みやすくなるかも、と思っています。



11/5に湘南大庭地区一斉防災訓練が開催されました。それに加えてパークサイド駒寄では、自治会員向けに災害時の物資配給訓練、UR団地は見守りサービスの紹介ブース、ぐるんとびーは非常食の試食・販売、健康相談ブースを同時に開催しました。

今回のこの防災訓練は、ぐるんとびースタッフでパークサイド駒寄自治会役員でもあり「防災士」の資格も持っている中野の込められた思いを聞いてみました。

ーなるほど。一度訓練でやることで、役員や住民の間で共通理解を作ることが、いざという時の安心材料の一つになりそうですね。

また、今回はURやぐるんとびーとも共同で開催していますが、これはどういう思いが込められているのでしょうか？

中野：今回は、URさんとぐるんとびーにお声かけしました。これは、「防災」をお祭りイベントにして、住民の参加のハードルを下げたかったからです。今回行った物資配給訓練は自治会員限定でした。そして、現在のパークサイドの自治会加入率は50%を下回っているので、非会員の方でも防災に対して興味を持てるキッカケ作りになってほしいと思い、企画しました。

ぐるんとびーとしては、非常食の試食・販売、健康相談会をさせていただきました。

耐熱性のポリ袋を使用した非常食レシピ、5年保存できる羊羹、カンパンに変わる保存用ビスケットなどの紹介を行いました。これも、防災士中野の思いが込められています。

中野：例えば、保存食の羊羹。5個で600円とお安くないんです。食べもしないのに買って備蓄しても、いざ食べた時に自分の口に合わなかったら、気が滅入ると思うんです。

でも、お試しで買えるほど安くない。そこで、コーヒーとセットにして試してみて、口に合えば備蓄すれば良いと思います。



ー今回、実際に防災訓練を行ってみていかがでしたか？

中野：今回だけで終わらず、数を重ねることが大切だと感じました。大地震は、いつ発生するかわかりません。必ず起こる大地震に備える必要があります。起こった後に『こんなはずでは』『想定外でした』と思うより、普段から備え、顔の見える関係性作りが大切と改めて感じました。

今回は、被災地支援の経験のある防災士の中野の視点からみる防災の話の聞きました。いざという時のために平時から人・物ともに備える大切さを改めて感じました。

みなさんも、家族や大切な方と防災に関して話してみたり考えてみるきっかけになるといいなと思います。

🕒 日々是好日

ぐるんとびーの日常をお届け♪

小規模多機能型居宅介護

ぐるんと畑でサツマイモ掘りしてきました！

天候にも恵まれて、子供も大人も一緒に楽しみました♪



看護小規模多機能型居宅介護

天気がいい日は外でピクニック♪

芝生の上でお昼寝も



みんなで二番構公園のお散歩♪



各事業所の空き状況

小規模多機能型
居宅介護

空き：×

看護小規模
多機能型
居宅介護

空き：○

ぐるんとびー
ケアプラン
センター

空き：×

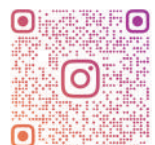
ぐるんとびー
訪問看護
ステーション

リハ：○

看護：○



@grundtvig.inc
日常のぐるんとびーの
様子はこちらから↓



GRUNDTVIG.INC

今月の出来事

今月もまちかどマルシェを開催しました！

11/24 に運営推進会議と合わせて、まちかどマルシェ、まちかど写真展を開催しました！

今回のまちかど写真展では、「私の好きな街の風景」と題して藤沢の写真を募集しました。四季折々の写真が集まる写真展となりました。



マルシェでは、「ピンさんの焼きそば」「ばーちゃんのおやき」の販売を行いました。



二番構公園にて青空絵手紙教室も行いました。

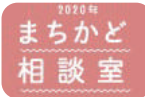
次回は1月にも、運営推進会議に合わせてまちかどマルシェ、まちかど写真展を開催予定ですのでみなさんぜひお越しください！



毎週金曜日
15:30~17:00
不定期休み



毎週金曜日
10:45~11:45
不定期休み



2020年
第2・4木曜日
13:00~16:00
パークサイド駒寄集会所
祝日・不定期休み所



毎週金曜日
10:00~17:00
地域交流スペース
不定期休み

ぐるんとびーケアプランセンター
地域交流スペース



滝の沢商店街の中にあります。
写真の右側の方です。

〒252-0816
神奈川県藤沢市遠藤 701-5

小規模多機能型居宅介護『ぐるんとびー駒寄』



エレベーターにて
6階へお上がりください。

〒251-0861
神奈川県藤沢市大庭 5682-6
パークサイド駒寄 3-612

看護小規模多機能型居宅介護『ぐるんとびー駒寄』
ぐるんとびー訪問看護ステーション



〒251-0861
神奈川県藤沢市大庭 5529-8
シャルマンコーポ湘南ライフタウン 1F



お問い合わせ

0466-54-7006

shimbun@grundtvig.co.jp

ご相談・見学はお気軽に
ご連絡ください。



Grundtvig.inc

発行元：ぐるんと新聞編集部



ぐるんとびーの
日常を発信中♪

